
令和7年度



学校要覧

Prospectus 2025



アクトン校舎



ブレント校舎



クロイドン校舎

ロンドン補習授業校

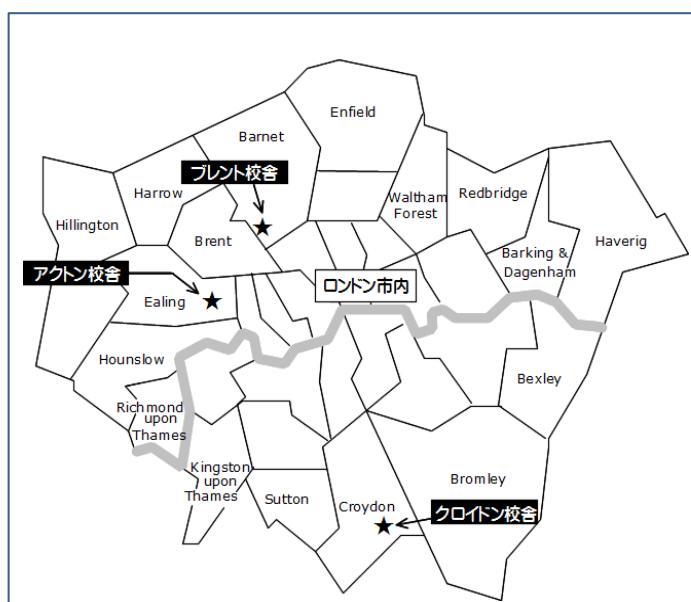
THE JAPANESE SATURDAY SCHOOL IN LONDON

目 次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. ロンドン補習授業校のめざすもの | 1 |
| 2. ロンドン補習授業校学則 | 2 |
| 3. ロンドン補習授業校の生活ときまり | 4 |
| 4. ロンドン補習授業校ってどんな学校? | 6 |
| 5. 入学・編入学・退学の手続き Q & A. | 7 |
| 6. 令和7年度授業日予定表 | 8 |
| 7. 組織と通学区域 | 9 |
| 8. 各校舎の紹介 | |
| ・アクトン校舎 | 10 |
| ・ブレント校舎 | 11 |
| ・クロイドン校舎 | 12 |
| 9. ロンドン補習授業校学級委員の会規約 | 13 |
| 10. 学校の沿革 | 14 |

| | |
|---------------|--|
| 学校の名称 | ロンドン補習授業校 THE JAPANESE SATURDAY SCHOOL IN LONDON |
| 学校の所在地 | 87 CREFFIELD ROAD, ACTON, LONDON W3 9PU, UK |
| 学校運営母体 | 日本人学校有限会社 |
| 連絡先等 | TEL: 020-8993-7145 E-mail: sat-london@thejapaneseschool.ltd.uk |
| 各校舎所在地 | |
| アクトン校舎 | 87 CREFFIELD ROAD, ACTON, LONDON W3 9PU |
| ブレント校舎 | CLAREMONT ROAD, LONDON NW2 1TR (現地借用校舎 WHITEFIELD SCHOOL) |
| クロイドン校舎 | OLD FARLEIGH ROAD, SOUTH CROYDON CR2 8YB (現地借用校舎 CROYDON HIGH SCHOOL) |

■ ロンドン補習授業校案内図 ■



1. ロンドン補習授業校のめざすもの

■ロンドン補習授業校のあらまし

ロンドン補習授業校のスタートは、1965年日本クラブ主催の「日本語会」です。その後、1976年6月に、日本人学校有限会社が設立され、ロンドン日本人学校との併設で再スタートを切りました。

ロンドンにおける在留邦人数の増加とともに、児童生徒も増え続け、1992年には、1831名に達しました。

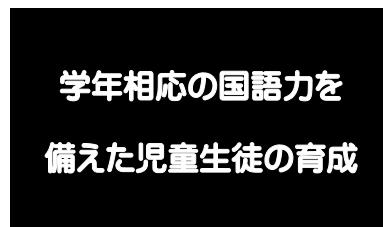
現在、現地校や国際学校に在籍する約1100名の子どもたちが、ロンドンやその近郊から通学しています。

ロンドン補習授業校は、現地校や国際学校に通う子どもたちが、日本の学校生活を体験できる場所として、貴重な役割を果たしています。

■ロンドン補習授業校学校経営方針

| 本校児童生徒数 | | | | |
|---------|-------|------|-------|------|
| | アクション | フレント | クロイドン | 計 |
| 小 | 364 | 260 | 131 | 755 |
| 中 | 98 | 57 | 38 | 193 |
| 高 | 67 | - | - | 67 |
| 日 | 100 | - | - | 100 |
| 計 | 629 | 317 | 169 | 1115 |

2025年5月1日現在



ロンドン補習授業校設置目的

学習指導要領に準じた国語教育
を行うことを通して、帰国後の学
校生活に適応できる素地を養う。

経営方針

日本人としての礼儀作法を身につけた児童生徒、目的をしっかりともち、主体的に学習に取り組む児童生徒の姿を思い描きながら、学年相応の国語力を備えた児童生徒の育成を目指す。子どもの声に耳を傾け、現地校との調和にも気を配り、日英の架け橋となる人づくりをなす学校の創造。

相互の信頼と協力により、ロンドン補習授業校における教育の効率化を図る。

- 子どもの側に立った「分かる授業の展開」..... 教師の教育への姿勢
- 授業時間数の有効活用を図るための、周到な計画と準備を整える..... 準備と工夫
- 保護者との信頼関係に基づいた職務遂行と教育実践に努める..... 保護者との協力連携

目指す学校

「安心して登校 満足して下校」

- ◎確かな学力が育つ学校
- ◎豊かな人間性が育つ学校
- ◎児童生徒の学びを支え合う学校

目指す教師

「恩師」

- ◎よく分かる授業を実践する教師
- ◎使命感を持つ教師
- ◎研鑽に励み、人間性豊かな教師

目指す児童生徒のために

| | よくわかる授業 | 安心安全な学習の場 | 指導効果の向上 |
|-------|--|--|---|
| 努力点 | 指導方法の工夫・改善 《わくわく》 | 生徒指導・人間関係育成 《のびのび》 | 学習環境構成・保護者との連携 《なるほど》 |
| ねらい | 《国語をしっかり学ぼう》 基礎的・基本的な内容を重視し、確かな学力の定着を図る学習指導に取り組む。 | 《友達と仲良く生活しよう》 様々な状況にある友達とも仲良くし、お互いの気持ちや立場を理解しあえる学級環境をつくる。 | 《お互いの学習成果を認め合おう》 児童生徒の学習の足跡や到達点が見え、相互に刺激し合える学習環境の整備に努める。 |
| 施 策 | 国語学習の基礎基本を充実させる授業の創造 ・音読・作文・視写・漢字に重点を置く ・個に応じた指導による確かな学力の定着 ・「自ら学ぶ授業」の展開 ・補助教材の精選・活用 ・指導と評価の一体化 | 好ましい人間関係づくりを通して豊かな心と自己指導能力の育成 ・相互理解、相互協力 ・個人面談や懇談会の活用 ・不慮の災害等に対する準備 | 一人一人の主体的な学びを引き出す多様な指導の工夫改善 ・学習意欲を喚起する分かる授業 ・学習の場の工夫 ・発表の場の工夫 |
| 具体的取組 | 指導の明確化と充実 ・講師による指導目標設定 ・指導計画に基づいた授業の展開 ・指導方法や教材の研究に取り組む ・研修の充実 | 教育相談活動と生徒指導の充実 ・担任、校舎長による教育相談 ・専門家による相談 ・避難訓練の実施 | 全体・校舎研修会の充実 補習校だより、校舎だよりの活用 ・毎月、毎週の発行 ・家庭指導の向上につながる内容の充実 ・グーグルクラスルームの活用 |

2. ロンドン補習授業校学則

| |
|---------------------|
| 昭和 51 年 10 月 1 日 |
| 改正昭和 57 年 7 月 27 日 |
| 改正昭和 57 年 12 月 15 日 |
| 改正昭和 61 年 4 月 1 日 |
| 改正昭和 62 年 4 月 1 日 |
| 改正昭和 63 年 4 月 1 日 |
| 改正平成 8 年 10 月 30 日 |
| 改正平成 10 年 7 月 14 日 |
| 改正平成 15 年 4 月 30 日 |
| 改正令和 6 年 5 月 28 日 |

第1章 総則

第1条 本校は、「ロンドン補習授業校」と称する。

第2条 本校は、事務局を 87 CREFFIELD ROAD ACTON LONDON W3 9PU に置く。

第3条 本校は、英國の学校や国際学校に在籍している英國在住の学校教育年齢に相当する日本人子女等を対象に、帰国後の学校生活に適応できるよう学習指導要領に準じた国語教育を行うことを教育経営の基本とする。

第4条 本校の運営は、日本人学校有限会社理事会（以下「理事会」という）がこれにあたる。ただし、通常の運営に関しては、理事会がその権限を委譲する学校運営委員会が行う。

第2章 修業年限・学部・学期及び授業日

第5条 本校には、小学部（6年制）、中学部（3年制）、高等部（3年制）、及び日本語科を設置する。

第6条 本校の学年は、4月1日に始まり、翌年3月31日までとする。学期は3学期制とする。

第7条 授業日は、毎週土曜日とし、年間授業日数は40日を標準とする。

第3章 入学・退学等

第8条 小学部・中学部・高等部の入学資格者は、英國の学校や国際学校に在籍している英國在住の学校教育年齢に相当する日本人子女等で、次のいずれかによる者とする。

- ① 帰国後の学校生活への適応を目的としている者。
- ② ①以外の者で国語学習の意欲があり、家庭で支援が得られ、本校の実施する面接その他の審査の結果、日本語が一定の水準に達していると認められる者。
- 2 日本語科の入学資格者は、第二母国語としての日本語の習得を望む者で、家庭の支援が得られ、本校の実施する面接その他の審査の結果、日本語が一定の水準に達していると認められる者。
- 3 入学を希望する者は、英国内に保護者が在住していることを必要とする。
- 4 入学を希望する者の保護者は、申し込みと同時に指定される「入学説明会」に出席し、所定の様式の「入学願書」やその他の必要書類を提出しなければならない。
- 5 入学の許可は校長または校長代行が行い、保護者宛に「入学許可証」を発行する。
- 6 校長または校長代行の承認により、入学資格者は学齢相当以下の学年に入学することができる。

第9条 校長または校長代行は、特別の事情による場合、児童生徒の留年を認めることができる。

第10条 退学を希望する者の保護者は、退学予定日の2週間以前に所定の用紙をもって届け出るものとする。

- 2 次の者は校長または校長代行の判断で退学させることができる。
 - ① 授業料を期限内に納付しない保護者の子女
 - ② 長期にわたって連絡が取れない者
 - ③ 学力向上が見られず、将来にわたり学力向上が見込まれない者
 - ④ 校内活動の秩序を著しく乱したり、授業の進行を著しく妨げたりする者
 - ⑤ その他、退学させることが適當と校長または校長代行が判断した者

第4章 保護者

第11条 保護者は、子女を入学させるにあたり、本学則を承諾し、子女の就学期間中はこの学則を厳守するとともに、家庭での支援をするものとする。

第12条 保護者は、児童生徒が欠席する場合、その旨電話等で本校に連絡するものとする。

第13条 保護者は、住居等を変更した場合、変更届を速やかに本校に提出するものとする。

第5章 教育活動及び学習評価

第14条 小学部・中学部・高等部の教育は、それぞれ学習指導要領に準じて行う。日本語科の教育は、児童生徒の日本語能力に応じた内容とする。

第15条 児童生徒の学習評価は、3学期に行う。

- 2 評価基準は、国語科の学習指導要領に示されている各学年の目標に準じるものとする。
日本語科については、別途基準を定める。

第6章 教職員

第16条 本校には、校長、校長代行、教諭、講師、事務長及び事務職員を置く。

- 2 校長及び校長代行は、校務を司り、所属職員を監督する。
- 3 教諭は、基幹要員として校舎運営にあたる。また、講師に指導・助言し、必要に応じて児童生徒の教育を司る。
- 4 講師は、児童生徒の教育を司る。
- 5 事務長は、事務一般を統括し、事務職員の指導・監督にあたる。
- 6 事務職員は、事務に従事する。
- 7 前項の他、必要に応じ、事務補佐員、臨時職員を置くことができる。

第17条 職員の就業及び服務については、別に定める。

第7章 学費

第18条 本校の入学及び在学に必要な費用は、次のとおりとする。ただし、金額については別に定める。

- ・入学金
- ・授業料
- ・その他の必要経費

第8章 改正等

第19条 この学則の改正は、理事会の承認を必要とする。

- 2 この学則に定めていない事項については、校長または校長代行は理事会の承認を得て決定することができる。

付則

この学則は、平成15年4月30日から実施する。

3. ロンドン補習授業校の生活ときまり

補習授業校事務所（アクトン校舎内）の業務日は、火曜日から金曜日までです。

TEL: 020-8993-7145

E-mail: sat-london@thejapaneseschool.ltd.uk

<http://www.thejapaneseschool.ltd.uk>

(1) 学習の進め方について

教室では、授業開始の挨拶など、日本国内で行われている習慣を取り入れています。これは、日本の学校文化を習得させるためです。

授業は、学級担任による一斉授業方式で進められます。

指導内容は、「**学習指導要領**」に掲げられたもので、教科書は**文部科学省検定済**の国内用を使います。

授業時数が限られていますので、教室学習と家庭学習とを合わせて学習目標を達成するよう計画しています。

教室では、基礎的・基本的事項と要点を指導します。基礎・基本として重視しているのは、音読・作文・視写・漢字です。

教室で学んだことの定着・習熟のためのドリル的な学習や、応用・発展的な学習は、宿題および自学としていますので、家庭での指導をお願いします。

(2) 欠席等の連絡について

無断欠席は厳禁です！

2週間続けて無断欠席をすると、電話で確認をします。4週間続けて無断欠席すると書面で在籍の確認をします。確認がとれない場合は除籍扱いとなりますので、ご注意ください。なお、その場合、納入された授業料等は返金いたしません。

事前に分かっている欠席の場合

次のいずれかの方法でお知らせください。

- 前の授業日までに、担任に書面で知らせる。（「欠席届」用紙は職員室前に設置）
- Eメール・電話・手紙で、補習授業校事務所へ申し出る。なお、欠席する週の金曜日 17:00 までに必着のこと。

当日、急な欠席の場合

必ず電話で、アクトン校舎事務所にお知らせください。こちらから、プレント校舎、クロイドン校舎に連絡します。

(3) 欠席日の宿題プリントや配付物の引き取りについて

欠席連絡時に下記のどの方法で配付物を受け取るかお知らせください。

- ① 知り合いの方に受取をお願いする。
- ② 保護者が授業日当日、または連絡の上、翌週火曜日～金曜日に学校に取りに来る。
- ③ 同じ学級の保護者に宿題の内容等を教えてもらう。
- ④ 学校からの配付物はHPやGoogle Classroomでの確認可能。

(4) 退学について

所定の用紙を用いて、「**退学届**」を提出してください。用紙は各校舎にあります。日本に帰国する場合で**退学日（最終登校日）の2週間前までに**提出されたものについては、「教科書給付証明書」と「在籍証明書」を退学日までにお渡しできます。

(5) 保健・養護について

各校舎には、ファーストエイドを受けもつ養護担当講師がいますが、鎮痛剤の投与や医療行為、医療機関（病院）への搬送は行うことができません。したがって、授業日（土曜日）は、校舎からの連絡が必ず受けられるようにしておいてください。

(6) 持ち物について

国語教科書（日本語科は指定された教材）・筆箱・鉛筆・ノート・消しゴム・国語辞典（小3以上）・副教材（国語ドリル・漢字ドリル・ワークブック・資料集等）・定規・水筒・その他担任が指示したもの。

※ お菓子・ジュース類、また、ゲーム等の授業に関係しない物の持ち込みは禁止です。持ち物には必ず記名をお願いします

(7) IDカードの着用について

保護者は、校内ではIDカードを見るように着用してください。着用していないと学校敷地内に入ることはできません。児童生徒のIDカードは通学鞄等に入れて携帯させてください。

(8) 教育相談について

補習授業校での学び方や、帰国後のことに関する相談は随時お受けしています。補習授業校事務所にご連絡ください。各校舎学期に一回ずつ、臨床心理士による相談も実施しています。

(9) その他

登下校の方法・図書の借り方・時程・教室配置・学級委員の会の活動などは、校舎ごとに決まっています。各校舎の職員室でおたずねください。

補習授業校の運営は、保護者の皆さんの協力がなければ成り立ちません。各校舎で決められたルールに従い、係や当番などに必ず参加していただきますようお願いします。

4. ロンドン補習授業校ってどんな学校？

- ☞ 授業日は、土曜の午前中。
- ☞ 授業日数は、年間約 40 日。
- ☞ 指導教科は、国語。
- ☞ 校舎は、アクトン・ブレント・クロイドンの 3 校舎。
- ☞ 設置学部は、小学部・中学部・高等部・日本語科の 4 学部学科。
(高等部・日本語科は、アクトン校舎のみ設置)
- ☞ 在籍児童生徒数は 1,115 名 (2025 年 5 月 1 現在)。

<ロンドン補習授業校 Q & A>

Q 教科書は何を使っていますか。

A 現在、小学部・中学部は光村図書、高等部は筑摩書房ほかを使っています。文部科学省検定済教科書です。どちらも日本国内で最も多く使われているものです。日本語科も同じ教科書などを使っています。

Q 授業はどのように進めていますか。

A 小・中・高の各学部は、学習指導要領に準拠した内容を一斉授業形式で行っています。授業は教科書を中心に行いますが、時間的制約の中で、様々な工夫を行っています。

Q 何か行事はありますか。

A 日本的な学校生活を体験させる意味で、いくつかの学校行事を行っています。入学式・卒業証書授与式・運動会・習字教室・百人一首大会・避難訓練・懇談会・授業参観等があります。

Q 「日本語科」って何ですか。

A 第二母語として日本語の習得及び国語を学ぶ学科です。現在、学年別に 8 学級あります。

Q 校区はどうなっていますか。

A 居住区によって、3 つに分けています。大まかにいうと、ロンドン西部・北西部・南西部がアクトン校舎、ロンドン北部・北東部・東部がブレント校舎、ロンドン南部・南東部がクロイドン校舎の校区です。詳しくは、通学指定区域をご覧ください。

Q 保護者の役割には、どんなことがありますか。

A 補習授業校の年間授業時数は、文部科学省が示す標準時数の 3 分の 1 程度です。そこで、家庭の支援が不可欠となります。教室での学習では、重点項目を中心に扱い、家庭はその反復・習熟・発展をするものとしています。双方で児童生徒の力を伸ばしていくよう計画しています。また、「学級委員の会」という組織のもとで学校運営への参加も不可欠です（保護者全員の輪番制による安全（ウォッチング）当番等）。

Q 学期や長期休業はどうなっていますか。

A 日本と同じ 4 月始業、3 月修了の 3 学期制です。また、春休み・夏休み・冬休みがあります。本年度の予定については、「令和 7 年度授業日予定表」(p. 8) をご覧ください。

Q 連絡は平日でもできますか。

A ロンドン補習授業校に関するお問い合わせは、すべてアクトン校舎の事務所で受け付けています。平日（火～金）は、職員が事務所におりますのでご連絡ください。月曜日は事務所は閉所しておりますので、連絡はできません。連絡先は、**020-8993-7145**、E-mail : **sat-london@thejapaneseschool.ltd.uk** です。なお、入学・編入等については「入学・編入学・退学の手続き Q & A」(p. 7) をご覧ください。

5. 入学・編入学・退学の手続き Q & A

Q 編入学はいつでもできますか。

A アクトン校舎で、年8回程度の入学説明会があり、その参加とお子様との面談が必須となっています。

Q 入学の手続きはどうすればよいですか。

A 随時受付で、次のような手順になっています。

- ① ホームページの「入学申し込み」のページから「申し込みフォーム」を送信する。
- ② 事務所より説明会の案内がメールにて送信される。
- ③ 指定日にアクトン校舎で行われる入学説明会・面談試験に参加する。
- ④ 入学許可となった場合は、誓約書にサインをする。
- ⑤ 初回授業日の前日の正午までに授業料・入学金等をインターネットバンキングで納付する。

* ウェイティング等がなければ入学説明会に出席し、面談を終えた週の土曜日から通学することができます。

Q 教科書はもらえますか。

A 在籍児童生徒はもらえます。編入学される場合で、光村図書の国語の教科書をお持ちでない場合は、各自、下記の要領で教科書を入手してください。

- ・日本から渡英される方：「海外子女教育振興財団」から給付を受けてきてください。
 - ・在英の方：在英國日本国大使館にて決められた期間（前期用は前年度8月ごろ、後期用は4月ごろ）にお申込みください。
 - ・他国から渡英される方：現在、日本人学校や補習校に在籍している場合には、在籍校から入手してください。日本人学校や補習校に通っていない場合は、在留先の大使館にお問い合わせください。
- ※上記の方法で入手できない場合は、在英國日本国大使館のホームページより「教科書追加送付申請」をしてください。

※編入日までに教科書が入手できない場合、手配した教科書が届くまで、学校の教科書を貸与いたします。

Q 入学金や授業料はいくらですか。支払い方法はどのようにになっていますか。

A 入学金は、児童生徒一人につきアクトン £242 です。（これは入学時のみです。）授業料は、児童生徒一人につき 1 学期ごとにアクトン校舎は £326、プレント・クロイドン校舎は £309 です。学期開始前に請求書を送信しますので、指定の期日までにインターネットバンキングでお支払いいただきます。学期途中編入者の場合は、初回授業日の前日の正午までに授業料・入学金をインターネットバンキングで納付していただきます。詳しくは説明会でお知らせいたします。

※ 途中編入あるいは途中退学の場合でも、割り引きや日割り計算等による払い戻しはありません。また、一度振り込まれた授業料等も返金できません。

Q 住所や電話番号の変更手続きはどうすればよいですか。

A 住所・電話番号・現地校などが変更になったときは、所定の「住所等変更届」を担任または各校舎職員室に提出してください。

Q 退学の手続きはどうすればよいですか。

A 帰国などで退学が決まりしたい、所定の「退学届」を担任または各校舎職員室に、退学（最終授業日）の 2 週間前までに提出してください。「退学届」は各校舎に常備されています。帰国の場合、教科書給付証明書等の必要書類をお渡しします。その他、入退学事務については、補習授業校事務所までお問い合わせください。

TEL: 020-8993-7145 E-mail: sat-london@thejapanesesschool.ltd.uk

Q 来年小学1年生になるのですが、新1年生の入学手続きはどうすればよいですか。

A 新年度（2026 年度）の小学部・日本語科 1 年生への入学については、12 月初旬にホームページで「募集要項」を公開します。そちらをお読みいただき、手続きを進めてください。例年、1 月に申込み受付を行っています。

補習校ホームページで入手できる届け用紙

- ・住所等変更届
- ・長期欠席届
- ・体験入学証明書
- ・授業料領収書
- ・退学届

<http://www.thejapanesesschool.ltd.uk>

6. 令和7年度 授業日予定表

| 日 | 曜 | 授業回 | アクトン | プレント | クロイドン | | |
|----|----|--------|-----------------------------|-------------|-----------------|--|--|
| 4 | 6 | 土 | イースター | | | | |
| 4 | 13 | 土 | 3校舎合同 職員全体研修会 | | | | |
| 4 | 26 | 土 第1回 | 入学式・始業式 | 入学式・始業式 | 入学式・始業式 | | |
| 5 | 3 | 土 第2回 | | 避難訓練 | 避難訓練 | | |
| 5 | 10 | 土 第3回 | 避難訓練 | | クロイドン漢字① | | |
| 5 | 17 | 土 第4回 | | | | | |
| 5 | 24 | 土 第5回 | | | 学級懇談会① | | |
| 5 | 31 | 土 第6回 | 学級懇談会① | 学級懇談会① | 学級懇談会② | | |
| 6 | 7 | 土 第7回 | 学級懇談会② | 学級懇談会② | | | |
| 6 | 14 | 土 第8回 | 学級懇談会③ | | | | |
| 6 | 21 | 土 第9回 | | | 運動会 | | |
| 6 | 28 | 土 第10回 | | | | | |
| 7 | 5 | 土 第11回 | | | クロイドン漢字② | | |
| 7 | 12 | 土 第12回 | | | | | |
| 7 | 19 | 土 第13回 | 終業式 | 終業式 | 終業式 | | |
| 7 | 26 | 土 | 夏休み | | | | |
| 8 | 2 | 土 | | | | | |
| 8 | 9 | 土 | | | | | |
| 8 | 16 | 土 | | | | | |
| 8 | 23 | 土 | | | | | |
| 8 | 30 | 土 第14回 | 始業式 | 始業式 | 始業式 | | |
| 9 | 6 | 土 第15回 | 避難訓練/校舎別研修会 | 校舎別研修会 | 校舎別研修会、クロイドン漢字③ | | |
| 9 | 13 | 土 第16回 | | | | | |
| 9 | 20 | 土 第17回 | | 運動会 | | | |
| 9 | 27 | 土 第18回 | 休校日 | 後期教科書配付 | 後期教科書配付 | | |
| 10 | 4 | 土 第19回 | 後期教科書配付 | | オンライン授業日 | | |
| 10 | 11 | 土 第20回 | 運動会（1・2年） | 避難訓練 | | | |
| 10 | 18 | 土 第21回 | | 書道教室 | | | |
| 10 | 25 | 土 第22回 | 職員中間研修会 | 漢検 | 避難訓練 | | |
| 11 | 1 | 土 第23回 | | 職員中間研修会 | 職員中間研修会 | | |
| 11 | 8 | 土 第24回 | | | 授業参観・学級懇談会① | | |
| 11 | 15 | 土 第25回 | 習字教室（3・4年） | 授業参観・学級懇談会① | 授業参観・学級懇談会② | | |
| 11 | 22 | 土 第26回 | 授業参観・学級懇談会① | 授業参観・学級懇談会② | | | |
| 11 | 29 | 土 第27回 | 授業参観・学級懇談会② | | クロイドン漢字④ | | |
| 12 | 6 | 土 第28回 | 授業参観・学級懇談会③ | | | | |
| 12 | 13 | 土 第29回 | | | | | |
| 12 | 20 | 土 第30回 | 終業式 | 終業式 | 終業式 | | |
| 12 | 27 | 土 | 冬休み | | | | |
| 1 | 3 | 土 | | | | | |
| 1 | 10 | 土 第31回 | 始業式 高等部百人一首大会 | 始業式 | 始業式 百人一首大会 | | |
| 1 | 17 | 土 第32回 | 百人一首大会 (小5・6、日5~8) | 百人一首大会 | | | |
| 1 | 24 | 土 第33回 | 小学部・日本科新入学説明会 | 小学部新入学説明会 | 小学部新入学説明会 | | |
| 1 | 31 | 土 第34回 | 小字部・日本語科入字面談 日本語科学生主導ワーク | 小学部新入学面談 | 小学部新入学面談 | | |
| 2 | 7 | 土 第35回 | 高等部入学試験 | | クロイドン漢字⑤ | | |
| 2 | 14 | 土 第36回 | | | | | |
| 2 | 21 | 土 第37回 | | | | | |
| 2 | 28 | 土 第38回 | (避難訓練) | | | | |
| 3 | 7 | 土 第39回 | 職員反省会 | 職員反省会 | 職員反省会 | | |
| 3 | 14 | 土 第40回 | 卒業式 修了式 | 卒業式 修了式 | 卒業式 修了式 | | |
| 3 | 22 | 土 | 春休み | | | | |

| 入学説明会 | | | | | |
|--|----|----|---|--------|--|
| 2019年4月1日以前に生まれたお子さんが対象です。 | | | | | |
| 回 | 月 | 日 | 曜 | 開始時刻 | |
| 第1回 | 4 | 9 | 水 | 10:30~ | |
| 第2回 | 5 | 7 | 水 | 10:30~ | |
| 第3回 | 6 | 4 | 水 | 10:30~ | |
| 第4回 | 8 | 26 | 火 | 10:30~ | |
| 第5回 | 9 | 24 | 水 | 10:30~ | |
| 第6回 | 10 | 22 | 水 | 10:30~ | |
| 第7回 | 1 | 7 | 水 | 10:30~ | |
| 第8回 | 2 | 18 | 水 | 10:30~ | |
| 第9回 | 3 | 11 | 水 | 10:30~ | |
| • 申込み締め切りは2日前の正午 • 入学説明会への保護者参加とお子様の面談が入学の必須条件 • 所要時間は1時間半程度 • 筆記用具持参 | | | | | |

| 2026年度入学受付(予定) | |
|---|--------|
| (新1年生) 2019年4月2日～2020年4月1日に生まれたお子様が対象です。 | |
| 日程 | 内 容 |
| 12月1日 | 募集要項公開 |
| 1月初旬 | 出願受付開始 |
| 1月中旬 | 出願受付終了 |
| 小学部 | |
| 1月24日 | 新入学説明会 |
| 1月31日 | 新入学面談 |
| 2月中旬 | 結果発送 |
| 日本語科 | |
| 1月24日 | 新入学説明会 |
| 1月31日 | 新入学面談 |
| 2月中旬 | 結果発送 |
| 高等部入試 | |
| 1月上旬 | 出願受付開始 |
| 1月下旬 | 出願受付終了 |
| 2月7日 | 入試 |
| 2月下旬 | 結果発送 |

※上記は変更の可能性があります。
詳細についてはお問い合わせください。

7. 組織と通学区域

■組織図



■通学区域

●アクトン校舎（ロンドン西部、北西部、南西部）

NW10、W3 ~8・W10 ~14、SW6・13・14・15

ADDLESTONE、ASHFORD、BRENTFORD、BUSHEY、CHERTSEY、COBHAM、EAST MOLESEY、EGHAM、ESHER、FELTHAM、GREENFORD、HAMPTON、HARROW、HAYES、HEMEL HEMPSTEAD、HOUNSLOW、ISLEWORTH、KINGS Langley、KINGSTON-UPON-THAMES、NORTHLOLT、NORTHWOOD、PINNER、RICHMOND RICKMANSWORTH、RUISLIP、SHEPPERTON、SOUTHALL、STAINS、SUNBURY-ON-THAMES、SURBITON、TEDDINGTON、THAMES DITTON、TWICKENHAM、UXBRIDGE、WATFORD、WEMBLEY、WEST DRAYTON、WEST MOLESEY、WEYBRIDGE、WALTON-ON-THAMES、WEST BYFLEET 及び次の地域より西側の地域 AMERSHAM、ASCOT、CHALFONT ST. GILES、CHESHAM、GERRARDS CROSS、IVER、SLOUGH、VIRGINIA WATER、WINDSOR、WOKING

●ブレント校舎（ロンドン北部、東部）

E4 ~13・15 ~18、N2 ~4・6・8 ~22、NW2・4・7・9・11

BARKING、BARNET、DAGENHAM、EDGWARE、ENFIELD 及び次の地域より北側の地域 STANMORE

●クロイドン校舎（ロンドン南部、南東部）

SE2 ~7・9・12 ~15・18 ~28、SW2・4・12・16 ~20

ASHTON、BANSTEAD、BECKEHAM、BEXLEY、BROMLEY、CARSHALTON、CATERHAM、CHESSINGTON、CHISLEHURST、COULSDON、CROYDON、EPSOM、KENLEY、KESTON、LEATHERHEAD、MITCHAM、MORDEN、NEW MALDEN、ORPINGTON、PURLEY、SIDCUP、SOUTH CROYDON、SUTTON、SWANLEY、TADWORTH、THORNTON HEATH、WALLINGTON、WARLINGHAM、WEST WICKHAM、WHYTE LEAFE、WORCESTER PARK 及び次の地域より南側の地域 OXTED、REDHILL、SEVENOAKS、WESTERHAM

下記の区域については、どの校舎に通学するかを申込時に選択することができる。ただし、一度選んだ校舎は引っ越し等特別な理由がなければ変更することができない。なお、日本語科・高等部は、居住区域にかかわらず通学校舎はアクトン校舎となる。

SW1・SW3・SW5・SW7 ~SW11、W1・W2・W9

NW1・NW3・NW5・NW6・NW8、WC 全域、EC 全域、N1・N5・N7、E1 ~3・E14、SE1・SE8・SE10・SE11・SE16・SE17

8. 各校舎の紹介

アクトン校舎

■場所

87 CREFFIELD ROAD, ACTON, LONDON W3 9PU

地下鉄(CENTRAL LINE) WEST ACTON 駅より徒歩 9 分

(PICCADILLY LINE) EALING COMMON 駅より徒歩 12 分

■校舎・設置学部

校舎は、日本人学校と共にしています。

学部は小学部・中学部・高等部・日本語科があります。

高等部・日本語科は、アクトン校舎にのみ設置しています。

■授業時程

◆小学部・日本語科 1~4 年

児童生徒登校 09:00~09:30
学級指導 09:30~09:40
第1校時 09:40~10:20
休み時間 10:20~10:30
第2校時 10:30~11:10
休み時間 11:10~11:25
第3校時 11:25~12:05
学級指導 12:05~12:15
児童生徒下校 12:15~

◆小学部 5・6 年、中学部、高等部・日本語科 5~8 年

児童生徒登校 09:00~09:30
学級指導 09:30~09:40
第1校時 09:40~10:40
休み時間 10:40~11:05
第2校時 11:05~12:05
学級指導 12:05~12:15
児童生徒下校 12:15~

<アクトン校舎周辺地図>



アクトン校舎・各クラスの人数

(2025 年 5 月 1 日現在)

| 学年 | 組 | 男 | 女 | 計 | |
|-----------|------|-----|-----|-----|-----|
| 小1 | A | 9 | 9 | 18 | |
| | B | 9 | 9 | 18 | |
| | C | 10 | 7 | 17 | |
| | D | 8 | 9 | 17 | |
| | E | 9 | 7 | 16 | |
| | 計 | 45 | 41 | 86 | |
| 小2 | A | 11 | 11 | 22 | |
| | B | 11 | 11 | 22 | |
| | C | 11 | 11 | 22 | |
| | D | 11 | 11 | 22 | |
| | 計 | 44 | 44 | 88 | |
| | A | 11 | 7 | 18 | |
| 小3 | B | 10 | 8 | 18 | |
| | C | 10 | 8 | 18 | |
| | D | 11 | 7 | 18 | |
| | 計 | 42 | 30 | 72 | |
| | A | 7 | 12 | 19 | |
| | B | 8 | 11 | 19 | |
| 小4 | C | 7 | 11 | 18 | |
| | 計 | 22 | 34 | 56 | |
| | A | 7 | 10 | 17 | |
| | B | 8 | 10 | 18 | |
| | 計 | 15 | 20 | 35 | |
| | A | 7 | 6 | 13 | |
| 小6 | B | 6 | 8 | 14 | |
| | 計 | 21 | 26 | 47 | |
| | 小学部 | 計 | 181 | 183 | 364 |
| | A | 10 | 10 | 20 | |
| | B | 10 | 11 | 21 | |
| | 計 | 20 | 21 | 41 | |
| 中2 | A | 9 | 7 | 16 | |
| | B | 9 | 7 | 16 | |
| | 計 | 18 | 14 | 32 | |
| | A | 11 | 14 | 25 | |
| | 計 | 11 | 14 | 25 | |
| | 中学部 | 計 | 49 | 49 | 98 |
| 小計 | | | | | |
| 高1 | A | 7 | 8 | 15 | |
| | B | 8 | 8 | 16 | |
| | 高2 | | 6 | 11 | 17 |
| | 高3 | | 10 | 9 | 19 |
| | 高等部 | 計 | 31 | 36 | 67 |
| | 1 | 7 | 3 | 10 | |
| 日本語科 | 2 | 2 | 7 | 9 | |
| | 3 | 9 | 4 | 13 | |
| | 4 | 9 | 7 | 16 | |
| | 5 | 4 | 7 | 11 | |
| | 6 | 5 | 7 | 12 | |
| | 7 | 6 | 9 | 15 | |
| | 8 | 9 | 5 | 14 | |
| | 日本語科 | 計 | 51 | 49 | 100 |
| 合計 | | | | | |
| | | 312 | 317 | 629 | |

ブレント校舎

■場所

[WHITEFIELD SCHOOL]

CLAREMONT ROAD, LONDON NW2 1TR

地下鉄(NORTHERN LINE) BRENT CROSS 駅より徒歩 12 分。

102 番、189 番のバス停 MAPLEDOWN SCHOOL (STOP W) より
徒歩 1 分

■校舎・設置学部等

校舎は、現地の公立校を土曜日のみ借用しています。

学部は、小学部と中学部があります。

■授業時程

◆小学部

| | |
|--------|-------------|
| 児童生徒登校 | 09:00～09:30 |
| 学級指導 | 09:30～09:40 |
| 第1校時 | 09:40～10:20 |
| 休み時間 | 10:20～10:30 |
| 第2校時 | 10:30～11:10 |
| 休み時間 | 11:10～11:25 |
| 第3校時 | 11:25～12:05 |
| 学級指導 | 12:05～12:15 |
| 児童生徒下校 | 12:15～ |

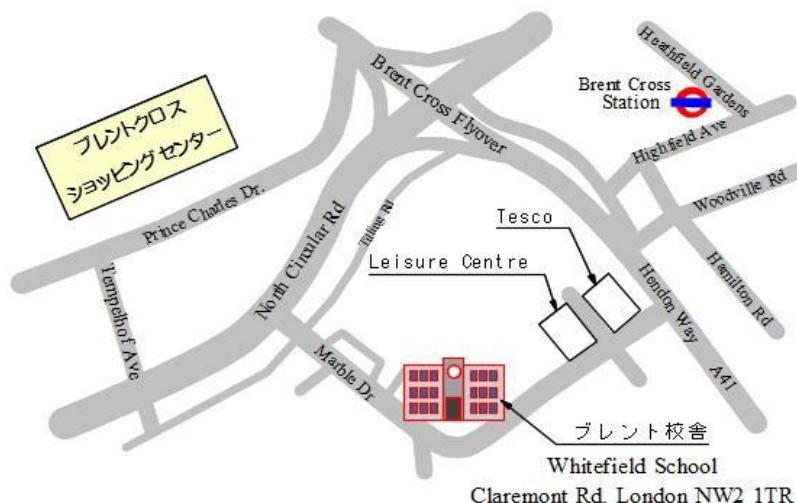
◆中学部

| | |
|--------|-------------|
| 児童生徒登校 | 09:00～09:30 |
| 学級指導 | 09:30～09:40 |
| 第1校時 | 09:40～10:40 |
| 休み時間 | 10:40～11:05 |
| 第2校時 | 11:05～12:05 |
| 学級指導 | 12:05～12:15 |
| 児童生徒下校 | 12:15～ |

ブレント校舎・各クラスの人数
(2025年5月1日現在)

| 学年 | 組 | 男 | 女 | 計 |
|-----|---|-----|-----|-----|
| 小1 | F | 7 | 7 | 14 |
| | G | 6 | 8 | 14 |
| | H | 7 | 7 | 14 |
| | I | 7 | 7 | 14 |
| | 計 | 27 | 29 | 56 |
| 小2 | E | 9 | 9 | 18 |
| | F | 8 | 8 | 16 |
| | G | 7 | 9 | 16 |
| | 計 | 24 | 26 | 50 |
| 小3 | E | 13 | 12 | 25 |
| | F | 12 | 12 | 24 |
| | 計 | 25 | 24 | 49 |
| 小4 | D | 8 | 10 | 18 |
| | E | 9 | 8 | 17 |
| | 計 | 17 | 18 | 35 |
| 小5 | C | 10 | 10 | 20 |
| | D | 10 | 9 | 19 |
| | 計 | 20 | 19 | 39 |
| 小6 | C | 6 | 10 | 16 |
| | D | 5 | 10 | 15 |
| | 計 | 11 | 20 | 31 |
| 小学部 | 計 | 124 | 136 | 260 |
| 中1 | C | 10 | 12 | 22 |
| 中2 | B | 4 | 16 | 20 |
| 中3 | B | 8 | 7 | 15 |
| 中学部 | 計 | 22 | 35 | 57 |
| 合計 | | 146 | 171 | 317 |

<ブレント校舎周辺地図>



クロイドン校舎

■場所

[CROYDON HIGH SCHOOL]

OLD FARLEIGH ROAD, SOUTH CROYDON CR2 8YB

NATIONAL RAIL EAST CROYDON 駅よりバス（64 番、409 番）
で 10 分

■校舎・設置学部等

校舎は、現地の私立校を土曜日のみ借用しています。

学部は、小学部と中学部があります。

■授業時程

◆小学部 1～4 年

児童生徒登校 09:00～09:30
学級指導 09:30～09:40
第 1 校時 09:40～10:20
休み時間 10:20～10:25
第 2 校時 10:25～11:05
休み時間 11:05～11:25
第 3 校時 11:25～12:05
学級指導 12:05～12:15
児童生徒下校 12:15～

◆小学部 5・6 年、中学部

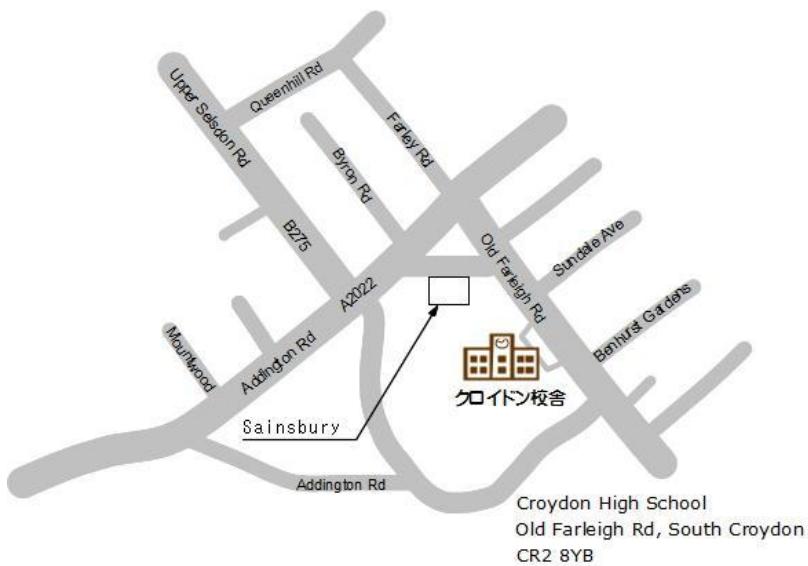
児童生徒登校 09:00～09:30
学級指導 09:30～09:40
第 1 校時 09:40～10:40
休み時間 10:40～11:05
第 2 校時 11:05～12:05
学級指導 12:05～12:15
児童生徒下校 12:15～

クロイドン校舎・各クラスの人数

(2025 年 5 月 1 日現在)

| 学年 | 組 | 男 | 女 | 計 |
|-----|---|----|----|-----|
| 小1 | J | 5 | 5 | 10 |
| | K | 4 | 6 | 10 |
| | 計 | 9 | 11 | 20 |
| 小2 | H | 11 | 11 | 22 |
| | G | 7 | 9 | 16 |
| 小3 | H | 6 | 9 | 15 |
| | 計 | 13 | 18 | 31 |
| 小4 | F | 14 | 9 | 23 |
| 小5 | E | 7 | 12 | 19 |
| 小6 | E | 10 | 6 | 16 |
| 小学部 | 計 | 64 | 67 | 131 |
| 中1 | D | 10 | 4 | 14 |
| 中2 | D | 5 | 2 | 7 |
| 中3 | C | 6 | 11 | 17 |
| 中学部 | 計 | 21 | 17 | 38 |
| 合計 | | 85 | 84 | 169 |

<クロイドン校舎周辺地図>



9. ロンドン補習授業校学級委員の会規約

1. 名称及び事務局

本会は、「ロンドン補習授業校学級委員の会」アクトン校舎、「ロンドン補習授業校学級委員の会」ブレント校舎及び「ロンドン補習授業校学級委員の会」クロイドン校舎と称し、各事務局をロンドン補習授業校に置く。

2. 目的

本会は、学校と保護者が協力連携し、児童生徒の心豊かで健全な成長を図ることを目的とする。

3. 活動

本会は、次の活動を行う。

- (1) 学校の依頼のもとに、学校教育活動の協力補助。
- (2) その他本会の目的達成に必要な活動。

4. 組織及び委員

本会は、ロンドン補習授業校に在籍する児童生徒の保護者、派遣教員及び講師によって組織し、次の委員を置く。

- (1) 委員長 各校舎 1 名 (学級委員の中から互選する)
- (2) 副委員長 各校舎若干名 (各校舎とも 1 名は校舎長を充てる)
- (3) 学級委員 各学級 2 名程度 (各学級から互選する)

5. 任期

- (1) 任期 各委員の任期は 1 年とする。但し、再任は妨げない。

6. 任務

- (1) 委員長 本会を代表し各会議を招集する。
- (2) 副委員長 委員長を補佐し、委員長に事故ある時はその職務を代行する。
- (3) 学級委員 学級の保護者を代表し、学級委員会及びその他の会を構成する。
- (4) 保護者 各校舎の全体会を構成する。

7. 会議

本会は、下記の会議を行い、必要事項を審議し執行にあたる。尚、各会議の構成員は原則として下記の通りとする。

- (1) 全体会 全会員。
- (2) 学級委員会 委員長・副委員長・校長・校長代行・校舎長・学級委員及び校務担当・養護担当。
- (3) 校舎連絡会 各校舎の委員長・副委員長及び校長・校長代行。
- (4) その他の会

8. 会費

本会は、会費を徴収しない。

9. 補則

本会規約は、各校舎の学級委員会の議決を経て、校舎連絡会の承認を得なければ改定することはできない。

附則

平成 3 年 5 月 1 日制定／平成 6 年 7 月 2 日改定／平成 12 年 4 月 15 日改定／平成 14 年 6 月 22 日改定

10. 学校の沿革

| 年月 | 事項 |
|---------------------------|--|
| 昭和40年(1965)9月 | 日本クラブの主導で「日本語会」が発足する。(会員制で、CONVENT OF OURLADY OF SIONに教室を設け、20名の子供と4名の講師で日本語の学習が開始される。) |
| 昭和41年(1966)4月 | 日本語学習の希望が強く、児童生徒数が80名に増加し、講師も5名となり、日本の学年に合わせて新学年を開始する。 |
| 昭和42年(1967)4月 | 在留邦人家庭の要望に応えて門戸を開き、日本クラブ会員以外の子弟の入学希望者を受け入れる。(児童生徒数97名、講師数5名) |
| 昭和43年(1968)4月 | 児童生徒の増加に対応するため、小学部高学年と中学部とを、大使館広報部に移す。(児童生徒数120名、講師数6名) |
| 昭和44年(1969)4月 | 現地の私立校ハンブシャースクールの校舎を借用し、小学部低学年・中学部を移転する。(児童生徒数160名、講師数8名) |
| 昭和45~46年 (1970~1971) | 各方面からの視察が多くなる。(児童生徒数200名、講師数9名)教育相談巡回来校、指導を受ける。 (児童生徒数270名、講師数10名) |
| 昭和47年(1972)4月 | 児童生徒の増加に伴い施設設備が間に合わず、午前と午後とで二部授業を始める。(児童生徒数270名、講師数10名) |
| 昭和48年(1973)4月 | 初めて事務局が設置される(銀行の一室)。(児童生徒数350名、講師数10名)入学希望者のすべてを受け入れることができず、ウェイティングリストを作る。 |
| 昭和49年(1974)4月 | ウェイティング解消のため、第3教場としてジャパン・トレード・センターの地下室を借用する。再び、ウェイティングリストができる。(児童生徒数470名、講師数12名)日本から初めて教師が派遣される。(校長格-小鴨述夫) |
| 昭和50年(1975)1月 4月 6月 | 日本クラブのソーシャルコミッティー委員長の下に学校運営委員会が結成され、事務局を独立の事務所に移転する。(児童生徒数490名、講師数15名) ハンブシャースクールヒジャパン・トレード・センターを返し、アメリカンスクールを借用し移転する。(児童生徒数520名、講師数24名) 日本クラブが全日制校の設置を決議する。 |
| 年月 | 事項 |
| | 運営関連その他 |
| 昭和52年2月 (1976) | 日本政府から補助金給付の決定通知を受ける。日本人学校設立委員会が設置される。 初代校長田中勝哉始め、5名の政府派遣教員が着任し、開校準備にあたる。 |
| 4月 | 有限会社日本人学校設立。(児童生徒数587名、講師数30名) |
| 6月 | カムデン校舎の購入が承認される。 |
| 8月 | 全日制校と補習授業校を併設し、10月1日に開校。 |
| 10月 | |
| 昭和52年4月 (1977) | アメリカンスクール教場の半分を日本人学校の校舎に移転する。高等部のみ大使館広報部を使用する。 海部文部大臣の来訪を受ける。(児童生徒数625名、講師数36名) |
| 9月 | |
| 昭和53年9月 (1978) | イスラエル航空へのテロ事件で危険に遭遇し、高等部もアメリカンスクールに移る。 砂田文部大臣の来訪を受ける。(児童生徒数684名、講師数36名) |
| 11月 | |
| 昭和54年4月 (1979) | 日本政府から2名の教師が派遣される。(児童生徒数753名、講師数38名) |
| | 理 事 長 有賀正五郎(三井物産) 理 事 長 河相 真澄(三井物産) 運営委員長 湯沢 一雄(東海銀行) 運営委員長 鳴原 修次 事 務 局 長 大西 清(徳島) 教 頭 |
| 昭和55年9月 ~10月 (1980) | 松浦文部省国際学術局長、藤本海外女子教育振興財団専務理事の来訪を受ける。 (児童生徒数851名、講師数41名) |
| | 理 事 長 田中正太郎(東京銀行) 理 事 長 後藤 完自(東海銀行) 運営委員長 末広 文次(日本興業銀行) 運営委員長 副島 翔(日本興業銀行) |
| 昭和56年 (1981) | |
| | 理 事 長 松岡 照男(日本郵船) 理 事 長 守谷 兼義(日本郵船) 運営委員長 平野 貞雄(富士銀行) 運営委員長 金谷 邦男(富士銀行) 校 長 大石 重徳(長崎) 教 頭 奏 武将(北海道) |
| 昭和57年10月 (1982) | 児童生徒の増加傾向に鑑み、テムズ川の南にも校舎を増やすことが決定される。 |
| | 理 事 長 高垣 佑(東京銀行) 理 事 長 後藤 完自(東京銀行) 運営委員長 相原 宣夫(三井銀行) 事 務 局 長 鳴原 修次 教 諭 野沢 紀子(東京学芸大学) |
| 昭和58年4月 (1983) | エルムウッド・ジュニアスクールを借用し、クロイドン校舎を新設する。 政府派遣教員が1名増員されて3名になり、カムデン、アメリカン、各校舎を担当する。 全児童生徒数が初めて千名を超える、1,218名となる。 |
| | 理 事 長 大木 荘三(三井物産) 運営委員長 小野 徳行(住友銀行) 教 諭 楠原 正人(鹿児島) |
| 昭和59年4月 (1984) | クロイドン校舎に回復学級(基礎部の前身)を設置し、英語を第一言語とする児童の指導にあたる。 |
| | 理 事 長 守谷 兼義(日本郵船) 運営委員長 加納 潔隆(第一勧業銀行) 校 長 藤野 英洋(東京) 教 頭 辻村 晋(北海道) |
| 昭和60年4月 (1985) | 日本人学校校舎をカムデンからアクトンに移すことが決定される。 (児童生徒数1,308名) |
| | 理 事 長 大木 荘三(三井物産) 運営委員長 小林 邦彦(三菱銀行) 教 諭 横田 照彦(静岡) |
| 昭和61年4月 (1986) | 「回復部」の名称を「基礎部」に変更する。(児童生徒数1,308名、講師数67名) |
| | 理 事 長 稲蔭 邦彦(東京銀行) 理 事 長 高井 邦彦(東京銀行) 運営委員長 谷本 健治(三和銀行) 教 諭 石垣 浩昭(三重) |
| 昭和62年4月 (1987) | 日本人学校校舎がアクトンに移転。 中学部、高等部、基礎部をアクトン校舎に統合し、アメリカン、クロイドン校舎は小学部のみとする。(児童生徒数1,448名、講師数69名) |
| | 理 事 長 菅原 明(日本郵船) 運営委員長 山中 貞雄(東海銀行) 校 長 三上 誠一(神奈川) 教 頭 佐藤 勝江(岩手大学) |
| 昭和63年10月 (1988) | 海外子女教育振興財団全国児童生徒作品コンクールで、学校賞・文部大臣奨励賞を受賞する。(児童生徒数1,501名、講師数74名) |
| | 理 事 長 高井 邦彦(東京銀行) 運営委員長 清水 邦夫(日本興業銀行) 教 諭 石本 典秀(埼玉) |
| 平成元年 (1989) | (アクトン校舎41学級、アメリカン校舎16学級、クロイドン校舎14学級) |
| | 理 事 長 熊谷 直彦(三井物産) 運営委員長 横堀 尚昭(富士銀行) 校 長 清水 隆雄(埼玉) 事 務 局 長 有松 誠二 教 諭 柏 隆(東京) |

| 年月 | 事項 | 運営関連その他 |
|---|--|--|
| 平成2年 7月 (1990) 9月 | 補習授業校教育全体計画を策定し、補習校教育の基本方針を定める。 アメリカン校舎を返し、カムデンのハーバーストック・ハイスクールに移転して「カムデン校舎」と呼称する。(児童生徒数1,741名、講師数78名) | 理事長 菅原 明(日本郵船) 運営委員長 阿蒜 達雄(太陽神戸三井銀行) 教頭 成石 壽之(岡山) |
| 平成3年 1月 (1991) 6月 9月 11月 | 各校舎に養護担当の副担任が置かれる。 カムデン校舎に中学部を新設することを決定し、先ず第1学年を開設する。 鈴木勲日本育英会理事長(元文化庁長官)一行の来訪を受ける。 クロイドン校舎は、クロイドン・ハイスクールに移る。 遠山敦子文部省教育助成局長の来訪を受ける。(児童生徒数1,821名、講師数82名) | 理事長 成瀬 知則(東京銀行) 運営委員長 小井戸雅彦(住友銀行) 教諭 高木 広明(島根) |
| 平成4年 4月 (1992) 7月 | クロイドン校舎に中学部を新設することを決定し、先ず第1学年を開設する。 児童生徒のアクション校舎への集中解消策の一貫として、新入生から通学区域の指定を行う。 (児童生徒数1,804名、講師数82名)日本政府派遣教員の増員があり、都合4名となる。 英国地区現地採用講師研修会(外務省・文部省主催)を開催する。 | 理事長 鈴村 健一(日本郵船) 運営委員長 宇野 節生(三菱銀行) 校長 塚本 吉紀(東京) 教諭 深沢 直樹(東京) 教諭 鈴木 史良(静岡) |
| 平成5年 4月 (1993) 7月 9月 12月 2月 | 日本政府派遣教員の増員が1名あり、都合5名となる。 校舎改築(図書館・校長室新設等)測量はじまる。接針会日英親善夏祭り参加。 英国地区現地採用講師研修会に2名出席。(於エジンバラ)。 在外教育施設教員に対する日本国内研修会に1名初参加。 (児童生徒数1,780名、講師数81名)海外子女教育課大橋課長の来訪を受ける。 校長室完成される。 カムデン校舎でオープンスクールを開催。現地校15校教員18名参加。 | 理事長 福室 修(三井物産) 運営委員長 室町 鐘緒(三和銀行) 教頭 木許 肇(大分) 教諭 井内 孝明(徳島) |
| 平成6年 4月 (1994) 9月 10月 10・1・2月 | 専任校長派遣される。日本政府派遣教員、校長を含めて2名増員(総計7名)。 児童生徒数1,705名、72学級、講師数78名体制で新学期始まる。 体育館新築完成。 与謝野馨文部大臣来校。 3校舎オープンスクールを開催。現地校、国際学校と交流を深める。 | 理事長 倉地 正(東京銀行) 運営委員長 宮崎 良雄(東海銀行) 補習校初代校長 宮之脇幸男(鹿児島)*専任 教諭 伊田 義信(兵庫) 教諭 佐藤 雅彦(大分大学) |
| 平成7年 4月 (1995) 6月 | 児童生徒数1,612名、派遣教員7名、講師75名(69学級)で22日新学期始業。 パソコン通信ネットワーク帰国教育相談活用開始。現地校調査。 カムデン校舎、クロイドン校舎教室外授業で初めて全校運動会開催。 | 理事長 鈴村 健一(日本郵船) 運営委員長 竹中 治彦(日本興業銀行) 教諭 藍沢 昌良(東京学芸大学) 教諭 岩田 正伸(長野) |
| 平成8年 4月 (1996) 6月 | 児童生徒数1,556名、派遣教員6名、講師76名(70学級)でスタート。 教室外授業実施。 | 理事長 福室 修(三井物産) 運営委員長 村井 隆次(第一勧業銀行) 教諭 山口 茂(東京) |
| 平成9年 4月 (1997) 5月 6月 7月 | 児童生徒数1,521名、派遣教員5名、講師76名(70学級)で新学期始まる。(児童生徒生活実態調査実施) 学級懇談会実施。 教室外授業実施。 英国地区現地採用講師研修会実施。 | 理事長 塩谷 憲司(東京三菱銀行) 運営委員長 小原 之夫(富士銀行) 事務長 隼人 第2代校長 白石 賢博(大阪) 教諭 東野 弘文(兵庫) |
| 平成10年 4月 (1998) 5月 6月 7月 | 児童生徒数1,531名、派遣教員5名、講師数76名(70学級)で新学期が始まる。 現地校調査。文部省研究指定校となる。 ホームページ完成: http://www.uk.so-net.com/london-hoshuko 学級懇談会実施 英国地区現地採用講師研修会実施 | 理事長 山口 瞳二(日本郵船) 運営委員長 石井 潤平(さくら銀行) 教諭 高橋 勝(埼玉) 教諭 北村 健治(静岡) |
| 平成11年 4月 (1999) 5月 | 児童生徒数1,453名、派遣教員5名、講師数75名(69学級)で新学期始まる。 学級懇談会実施 | 理事長 大貫 義昭(三井物産) 運営委員長 佃 孝之(住友銀行) 事務局長 管野 秀一 教諭 今野 浩義(北海道) 理事長 永田 宏(三井物産) |
| 平成12年 3月 (2000) 4月 7月 | 文部省 在外教育施設研究指定 研究紀要(中間報告)豊かで確かな力を育む国語教室をめざして 児童生徒数1,434名、派遣教員5名、講師数73名(67学級)で新学期始まる。 英国地区現地採用講師研修会実施 | 理事長 山田 匠道(東京三菱銀行) 運営委員長 三浦 喬(三和銀行) 第3代校長 加藤 光昭(愛知) 教諭 越川 光雅(千葉) |
| 平成13年 3月 (2001) 4月 | 文部科学省 在外教育施設研究指定 研究紀要(本発表)豊かで確かな力を育む国語教室をめざして ~研修体制の基礎づくりに向けて~ 児童生徒数1,406名、派遣教員5名、講師数74名(68学級)で新学期始まる。 | 理事長 石田 忠正(日本郵船) 運営委員長 鈴木 達郎(東海銀行) 教諭 田尻 博道(熊本) 教諭 大塚 敬昌(茨城) |
| 平成14年 4月 (2002) 5月 7月 12月 | 児童生徒数1,352名、派遣教員4名、講師数74名(68学級)で新学期始まる。 ホームページアドレス変更: http://www.london-hoshuko.co.uk 自主研究発表 豊かで確かな力を育む国語教育をめざして補習授業校の実態に即した効果的な支援の在り方 英國地区現地採用講師研修会実施 基礎部を改称し日本語科とする。 | 理事長 木村 治雄(東京三菱銀行) 運営委員長 濱 正孝 (みずほコーポレート銀行) 高等部・基礎部校長代行 管野 秀一 |
| 平成15年 4月 (2003) 5月 7月 | 児童生徒数1,263名、派遣教員4名、講師数75名(69学級)で新学期始まる。 校舎担当を改称し校舎長とする。カムデン校舎がフィンチリー校舎に移転 学級懇談会開始 英國地区現地採用講師研修会実施 | 理事長 莊司 紀夫(三井物産) 運営委員長 木本 泰行(三井住友銀行) 第4代校長 富澤 敏彦(東京学芸大学) 教諭 宮邊 淳一(福岡) |
| 平成16年 4月 (2004) 5月 7月 9月 | 児童生徒数1,287名、派遣教員3名、講師数76名(70学級)で新学期始まる。 日本語科1学級増設7学級とする。 学級懇談会開始 英國地区現地採用講師研修会実施 ホームページアドレス変更: http://www.thejapaneseschool.ltd.uk | 理事長 佐藤 実(日本郵船) 運営委員長 木下 和彦(UFJ銀行) 第5代校長 長山 正宏(茨城) 教諭 佐嶋 昭彦(大阪) 教諭 竹澤 秀樹(愛知) |
| 平成17年 4月 (2005) 9月 | 児童生徒数1,344名、派遣教員4名、講師数79名(73学級)で新学期始まる。 創立40周年記念 校章制定 | 理事長 柳澤 匠(東京三菱銀行) 運営委員長 塚本 隆史(みずほコーポレート銀行) |
| 平成18年 4月 (2006) | 児童生徒数1,344名、派遣教員4名、講師数78名(72学級)で新学期始まる。 | 理事長 遠藤 恒一(三井物産) 運営委員長 東 俊太郎(三井住友銀行) 溝口 潤(三井住友銀行) 高等部・日本語科校長代行 亀井 誠 教諭 清水 宣宏(東京) |

| 年月 | 事項 | 運営関連その他 |
|-----------------------|--|--|
| 平成19年4月 (2007) | 児童生徒数1,323名、派遣教員4名、講師数78名(72学級)で新学期始まる。 | 理事長 佐藤 実(日本郵船) 諸岡 正道(日本郵船) 運営委員長 吉川 圭介(JVCヨーロッパリミテッド) 第6代校長 荒川 雄之 (千葉:平成19年1月教頭派遣) 教諭 濱砂 万将(鹿児島) 教諭 田中 淳(大阪) |
| 平成20年4月 (2008) 12月 | 児童生徒数1,289名、派遣教員4名、講師数75名(69学級)で新学期始まる。 ホームページをリニューアルする。 | 理事長 守村 卓(三菱東京UFJ銀行) 運営委員長 石田 友豪(野村證券) 教諭 熊田 和則(東京) |
| 平成21年4月 (2009) 7月 | 児童生徒数1,285名、派遣教員4名、講師数73名(67学級)で新学期始まる。 財団法人海外子女教育振興財団 濱谷博道会長・根道博専務理事の来訪を受ける。 英國地区現地採用講師研修会実施(ロンドン補習授業校にて) | 理事長 飯尾 紀直(欧州三井物産) 運営委員長 有安 秀之(日立ヨーロッパ) 第7代校長 西村 正寛(千葉・シニア派遣) |
| 平成22年4月 (2010) | 児童生徒数1,280名、派遣教員4名、講師数74名(68学級)で新学期始まる。 | 理事長 服部 浩(日本郵船) 運営委員長 若生 信弥(みずほコーポレート銀行) 教諭 赤崎 雅也(大阪) 教諭 井村 直樹(三重) 高等部・日本語科校長代行 管野 秀一 |
| 平成23年4月 (2011) 2月 | 児童生徒数1,295名、派遣教員4名、講師数74名(68学級)で新学期始まる。 日本語科を1学級増設し、8学級とする。 文部科学省国際教育課中井課長の来訪を受ける。 | 理事長 守村 卓(三菱東京UFJ銀行) 運営委員長 畠場 優一(キヤノンヨーロッパリミテッド) 教諭 山田 剛(鹿児島県) |
| 平成24年4月 (2012) | 児童生徒数1,308名、派遣教員3名、講師数75名(69学級)で新学期始まる。 | 理事長 坂本 憲昭(欧州三井物産) 運営委員長 多田 正巳(大和証券キャピタルマーケッツ) 後藤 正明(大和証券キャピタルマーケッツ) 第8代校長 江口 俊昭(神奈川・シニア派遣) |
| 平成25年4月 (2013) | 児童生徒数1,331名、派遣教員3名、講師数76名(70学級)で新学期始まる。 | 理事長 服部 浩(日本郵船) 運営委員長 野波 俊輔(東芝ヨーロッパ) 石川 純一(東芝ヨーロッパ) 教諭 佐藤 隆司(北海道) |
| 平成26年4月 (2014) | 児童生徒数1,404名、派遣教員3名、講師数77名(71学級)で新学期始まる。 | 理事長 中野 昌治(三菱東京UFJ銀行) 宮地 正人(三菱東京UFJ銀行) 運営委員長 細見 健一(三菱東京UFJ銀行) 教頭 斎木 義一(東京都) |
| 平成27年4月 (2015) | 児童生徒数1,297名、派遣教員3名、講師数78名(72学級)で新学期始まる。 借用校舎変更により、フィンチリー校舎をプレント校舎に名称変更 「日本語会」発足より、50周年を迎える。 | 理事長 石川 博紳(欧州三井物産) 運営委員長 飯塚 直樹(NECヨーロッパ) 第9代校長 青木 時和(愛媛県・シニア派遣) |
| 平成28年4月 (2016) | 児童生徒数1,284名、派遣教員3名、講師数75名(69学級)で新学期始まる。 | 理事長 中井 拓志(日本郵船) 運営委員長 篠原 実(翻訳インターナショナル・ビーエルシー) 教諭 中野 喜久(奈良県・シニア派遣) |
| 平成29年4月 (2017) | 児童生徒数1,261名、派遣教員2名、講師数77名(71学級)で新学期始まる。 安部総理大臣夫人プレント校舎視察 | 理事長 桑原 昌宏(三菱東京UFJ銀行) 運営委員長 阿部 和雄(日立ヨーロッパ) 事務局長 竹中 聰 事務長 柏原 貴樹 教頭 高橋 敬夫(宮城県・シニア派遣) |
| 平成30年4月 (2018) | 児童生徒数1,291名、派遣教員3名、講師数77名(71学級)で新学期始まる。 | 理事長 久米 敦司(欧州三井物産) 藤谷 泰之(欧州三井物産) 運営委員長 永峰 宏司(株式会社みずほ銀行) 第10代校長 澤邊 正人(大阪府・シニア派遣) 教諭 栗和田建夫(宮城県・シニア派遣) |
| 平成31年4月 (2019) | 児童生徒数1,257名、派遣教員3名、講師数75名(69学級)で新学期始まる。 | 理事長 久保田圭二(日本郵船) 運営委員長 石塚 雄一(キヤノンヨーロッパリミテッド) 事務局長 西原 勝克 |
| 令和2年4月 (2020) 7月 | 児童生徒数1,219名、派遣教員3名(1名は日本待機)、講師数80名(74学級) 新型コロナウィルス感染拡大防止のため、1学期は休校となる。 待機派遣教員着任 | 理事長 佐崎 孝教(三菱UFJ銀行) 運営委員長 石塚 雄一(キヤノンヨーロッパリミテッド) 柳沢 志向(大和証券キャピタルマーケッツ) 教諭 村田 健吾(福岡県・シニア派遣) |
| 令和3年4月 (2021) | 児童生徒数1,143名、派遣教員3名、講師数74名(68学級)で新学期始まる。 | 理事長 宮田 裕彦(欧州三井物産) 運営委員長 中村敬一郎(SMECジャパン・シナリオ) 第11代校長 中村 清忠(東京都・シニア派遣) 教頭 久保 康子(大阪府・シニア派遣) |
| 令和4年4月 (2022) | 児童生徒数1,092名、派遣教員3名、講師数72名(66学級)で新学期始まる。 | 理事長 片山 祥徳(欧州三菱商事) 高田 明彦(欧州三菱商事) 運営委員長 青木 健男(翻訳インターナショナル・ビーエルシー) 本谷 大輔(翻訳インターナショナル・ビーエルシー) 事務局長 岡本 和男 |
| 令和5年4月 (2023) | 児童生徒数1,140名、派遣教員3名、講師数73名(67学級)で新学期始まる。 | 理事長 佐崎 孝教(三菱UFJ銀行) 運営委員長 西田 直敏(日立ヨーロッパ) 高木 玲(日立ヨーロッパ) 椙垣弥生子(日立ヨーロッパ) 教頭 手嶋 秀臣(愛知県・シニア派遣) 教諭 三村 喬士(岡山県・シニア派遣) |
| 令和6年4月 (2024) | 児童生徒数1,127名、派遣教員3名、講師数71名(65学級)で新学期始まる。 | 理事長 桑田 成一(丸紅欧州会社) 市ノ川 覚(丸紅欧州会社) 運営委員長 岡田 茂樹(株式会社みずほ銀行) 第12代校長 斎藤 寛(茨城県・シニア派遣) |
| 令和7年4月 (2025) | 児童生徒数1,115名、派遣教員3名、講師数72名(66学級)で新学期始まる。 | 理事長 中野 行庸(欧州三井物産) 運営委員長 石塚 雄一(キヤノンヨーロッパリミテッド) 中村 敏(キヤノンヨーロッパリミテッド) 事務局長 北田 俊也 教頭 鈴木 崇洋(宮城県) 教諭 峰岸 和也(千葉県) |



令和7年度（令和7年5月1日作成）

ロンドン補習授業校学校要覧

編集 ロンドン補習授業校

THE JAPANESE SATURDAY SCHOOL IN LONDON

87 Creffield Road, Acton, London W3 9PU U.K.

Tel: 020-8993-7145

E-mail: sat-london@thejapaneseschool.ltd.uk

<http://www.thejapaneseschool.ltd.uk>
